

対象科目：修士課程 マーケティング・国際ビジネス専修 国際ビジネス領域

【出題範囲・大項目】

＜国際ビジネス論、国際貿易論の共通分野＞

- ・世界経済概観

＜国際ビジネス論の分野＞

- ・国際化の理論（エントリーモードの選択、文化的距離、国際化の発展段階）
- ・国際ビジネス活動の理論（国際製品ライフサイクル理論、内部化理論、OLI パラダイム、ボーン・グローバル）
- ・国際経営戦略（企業特殊的優位、異質性による負債、イノベーション戦略、知識移転、海外子会社の進化）
- ・グローバル統合 vs. 現地適応（IR グリッド、トランスナショナルモデル、メタナショナルモデル）
- ・グローバルガバナンス（マネジメントコントロール、親会社と子会社の関係、多国籍企業の国際的組織発展、グローバルバリューチェーン）
- ・多国籍企業の管理（リージョナルマネジメント、R&D マネジメント、人的資源管理、異文化管理、ダイバシティマネジメント）
- ・貿易取引の商慣習
- ・貿易取引の法的環境
- ・貿易取引の実務環境

＜国際貿易論の分野＞

- ・国際貿易の理論（比較優位、リカード・モデル、ヘクシャー=オリーン・モデル、特殊要素モデル）
- ・ミクロ経済学の基礎（完全競争市場、独占市場、寡占市場、独占的競争市場）

【参考文献】

＜国際ビジネス論の分野＞

- 浅川和宏（2003）『グローバル経営入門』日本経済新聞社。
- 石原伸志他著（2019）『改訂新貿易取引』経済法令研究会。
- 絹巻康史（2009）『国際取引法』改訂版，同文館，第1～10章，第12～14章，第16章。

＜国際貿易論の分野＞

国際貿易論（たとえば以下の書籍）

- P. クルーフマン，M. オブストフェルド，M. メリッツ（2016）『国際経済学 理論と政策 貿易編 [原書第10版]』丸善出版。
- R. ケイブス，J. フランケル，R. ジョーンズ（2003）『国際経済学入門：国際貿易編』日本経済新聞出版社。

ミクロ経済学

神取道宏（2014）『ミクロ経済学の力』日本評論社。